

JAPIC Pharma Report

海外医薬情報 **速報**

発信元：一般財団法人日本医薬情報センター
事業部門 医薬文献情報担当
〒150-0002 渋谷区渋谷 2-12-15 長井記念館 5F

No. 1383 2023年5月18日発行

腎細胞癌に対する Nivolumab および Ipilimumab への Cabozantinib の追加：無作為化二重盲検プラセボ対照 Phase III 試験

Cabozantinib plus Nivolumab and Ipilimumab in Renal-Cell Carcinoma

T.K. Choueiri (Dana-Farber Cancer Institute, Boston/USA) , ほか

N. Engl. J. Med. 388 (19) 1767-1778 / (2023. 5. 11)

グレード3または4の有害事象 (ALT 値および AST 値の上昇, 高血圧など) がよく見られた。

HLA-B*38:16 および B*58:17 変異陽性のフィリピン人成人男性における Allopurinol に関連したステイvens-Johnson 症候群：1 症例の報告

Stevens-Johnson Syndrome in an Adult Filipino Male Positive for HLA-B*38:16 and B*58:17, Associated With Allopurinol: A Case Report

Ana Rouselle Reyes-Ramos (Tondo Medical Center, Manila/Philippines) , ほか

J. Clin. Pharmacol. 63 (6) 742-744 / (2023. 6)

Medicines Safety Update (2023.5.11)

Australian Government : Department of Health/Therapeutic Goods Administration (TGA)

Janus kinase (JAK) 阻害剤の重要な安全性情報 : Janus kinase (JAK) 阻害剤 tofacitinib に関する大規模な関節リウマチの市販後安全性研究 (Oral Surveillance Study) により, 心臓発作, 脳卒中, 癌, 血栓, 重篤な感染および死亡のリスクが腫瘍壊死因子 (TNF) 阻害剤と比較して増加することが判明した。豪 TGA は他の JAK 阻害剤である baricitinib および upadacitinib が tofacitinib と類似したメカニズムを共有していることから, 本研究の結果に基づき, 上記リスクについて, 枠組み警告および強調された注意が, 慢性炎症疾患の治療に使用される JAK 阻害剤 (baricitinib (OLUMIANT) , tofacitinib (XELJANZ および XELJANZ XR) , upadacitinib (RINVOQ)) のオーストラリアの製品情報の各文書に追加された。上記副作用のリスクを最小化するために, JAK 阻害剤は心血管疾患の既往を有する患者, 心血管疾患や癌のリスクが高い患者, または 65 歳以上の患者の慢性炎症疾患には処方されるべきではない。TGA は本件について Safety Advisory も発行したことなどについて記載。

編集部注：詳細情報は文献複写サービスをご利用になるか, 医薬品情報データベースの iyakuSearch, PharmaCross などをご覧ください。尚, より速く情報をお伝えするため, 一部電子ジャーナルを利用して採択を行っております。文献複写サービスは雑誌入手後となりますのでご了承ください。文献複写申込みは JAPIC 附属図書館 / 文献複写サービスよりお申込みください。 (<http://www.japic.or.jp/service/library/guidance.html>)